



2016 研修分科会

私立大学図書館協会東地区部会研究部 第8期

第2回開催案内

開催日時：2016年7月7日（木） 13時～17時

会 場：明治学院大学 本館8階 81会議室

テーマ：機関リポジトリを知る



事前課題：自館の機関リポジトリを知る

各自所属機関のリポジトリについて調べて、課題用紙に記入してください。（同じ所属の方もそれぞれで記入。機関リポジトリを公開していない場合は、そちらの選択肢で回答。）

ファイル名は「課題2_〇〇大氏名」という形式にしてメーリングリストに提出してください。提出期限：7月1日（金）

当日は一人1-2分で発表してもらい、他の人にコメントをしてもらいます。

地下鉄三田線、南北線、浅草線のほか、

都バス 品川駅高輪口→明治学院前←目黒駅東口（大井競馬場行き）もあります。

今回の講演

機関リポジトリを知る

東京歯科大学図書館 阿部 潤也氏

2016年4月時点で国内のリポジトリ公開数は681機関にのぼります。(NIIオープンフォーラム2016 http://www.nii.ac.jp/csi/openforum2016/track/pdf/20160526_IR01-1_ojiro.pdf) 皆さんの中には大学図書館で勤務を始めた時点で図書館がリポジトリの業務を行っていて、当たり前のように受け止められている方もいるかも知れませんが、どうして大学図書館では機関リポジトリ公開に力を入れているか考えてみましょう。研修分科会では、2011年から必ず毎年このテーマを取りあげてきました。「機関リポジトリ」について、その成り立ちや意義、概要を知することは、現代の大学図書館の役割・機能とは何かを考える上で欠かせないテーマだからです。今年もDRF等でご活躍の阿部潤也氏にご講演をお願いしました。

NIIが提供するリポジトリシステムであるJAIRO Cloudを基盤として、オープンアクセスリポジトリを共同運営していこうという趣旨で、この2016年7月27日にオープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)が発足します。これらの動向は、内閣府が打ち出す「国際的動向を踏まえたオープンサイエンスに関する検討」(<http://www8.cao.go.jp/cstp/sonota/openscience/>)の中にも、位置付けられ、今後は「オープンデータ」と共に、一層重要性を増してくると思われます。

多くの図書館でリポジトリへの取組みが始まっていますが、皆さんの図書館ではいかがでしょう。大学図書館の機能を、研究・教育に必要な学術情報を提供する事と捉え、オープンアクセスの動きの中のひとつの方法として「機関リポジトリ」を

知ると、大学図書館は学術情報流通の根幹を担っているという使命が見えてきます。その様な視点で私たちの仕事を考えてみる機会にしたいと思います。そして、将来大学図書館は何を、どのように提供できるようになるか、一緒に考えてみましょう。

Time Table

13:00-15:10	講演：機関リポジトリを知る (途中休憩10分)
15:10-15:20	ティーブレイク
15:20-16:20	課題グループ討議・発表
16:20-16:30	事務連絡
16:30-17:00	明治学院大学図書館見学

館内をご案内くださいます。名札を忘れずに。

連絡事項

- 課題提出期限：7月1日（金）
提出先：2016kenshu@googlegroups.com
当日はレジュメ、課題のコピーを持参してください。
- 第4回以降の会場が決まりました。皆様、ご協力ありがとうございました。
第4回 10/6 國學院大学様
第5回 11/17 TRC本社（PCをお借りしてレファレンス実習を行います。）
第6回 12/8 共立女子大学様

IAAL事務局連絡先 〒171-0021 豊島区西池袋5-14-8 6F

IAAL緊急連絡先（高野携帯番号）090-9828-7026